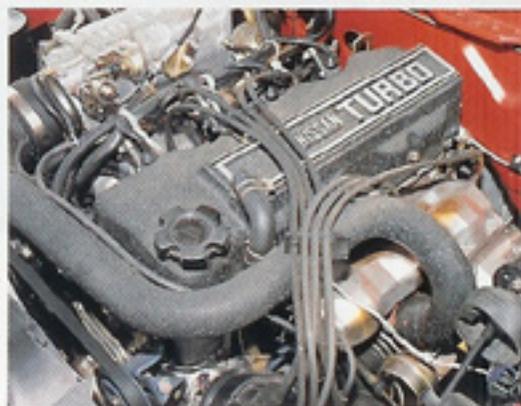




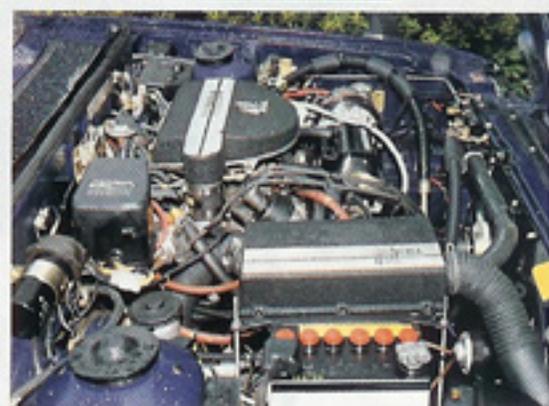
「ガゼールの最高速は3速5900回転でマーク。直進安定性、ステアリングの応答もいい。全開でも平和そのものだ。バル・ターボは3000回転から非常にコンスタントにブーストがかかる。最高速は5速で5500回転だが、パワー、足回りともセッティングは文句なし。安定した最高速がマークできるね」(望月)

ターボVS
ガゼール(AT)は166.28km/h
バル・プレリウド173.91km/h

ATといえども、ガゼール・ターボの心臓は最高速181.2km/hをたたき出すバル・ターボと同じだ。空力の良さからも好記録が期待されたが……。対するバル・プレリウドはストリート・チューンながらレビンの171.9km/hより速いのはさすが！



ガゼール・ターボはバルと同じZ18E・T型。最高出力135馬力/6000回転を発生。



プレリウドのVRターボは120馬力/5500回転で使いやすい。



日産L型でトップ・クラスの久保チューン3&Z。270~280馬力のかりかり・マシンだ。

日産L型パワーの元祖、久保3&はやはり速い。280馬力のメカ・チューンにZGノーズで武装。1周め257・14km/h、そして2周め257・6km/hをマーク/雨宮RX7、13Bベリレコに僅差。時間切れ！

久保3&Z驚異の257.60km/h



「L型がこんなにふけるなんて信じられないほどだ。音もいいし。最高速は5速7600回転だった。水温も90度ぐらいで心配ない。ただ、7300回転あたりでキャブの息つきが気になった。速いけれど、サスペンションが弱くバンクで全開できないのが難点だ」(高橋)